

2021年6月30日

新本社ビル「蔵前一丁目開発事業」オフィス棟  
「CASBEE-スマートウェルネスオフィス」認証取得  
～最高位「Sランク」評価を獲得～

ライオン株式会社（代表取締役社長・掬川 正純、以下、ライオン）は、2023年春、日本郵政不動産株式会社（代表取締役社長・岩崎 芳史、以下、日本郵政不動産）が現在建設中の「蔵前一丁目開発事業」オフィス棟に本社を移転いたします。このたびライオンが入居予定のオフィス部分（以下、本物件）において、2社共同で「CASBEE\*-ウェルネスオフィス」認証\*\*の最高位となる「Sランク」を取得しました。賃貸オフィスビルとして最高スコア※<sup>1</sup>での獲得となりました。

併せて、本物件は日本郵政不動産が既に「CASBEE-建築」認証※<sup>2</sup>の「Sランク」を取得していることにより、建築物の総合的環境性能とともにウェルネス性能の認証を行う「CASBEE-スマートウェルネスオフィス」認証の「Sランク」にも認定されました。

ライオンは、次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーとして、働く社員の健康促進にも取り組んでまいります。

- \* 「CASBEE」（建築環境総合性能評価システム）：  
（一財）建築環境・省エネルギー機構及び認定された評価認証機関が、建築物の環境性能で評価し格付けする手法
- \*\* 「CASBEE-ウェルネスオフィス」認証：  
上記評価機関が建物利用者の健康性・快適性、知的生産性の向上、利便性、安全・安心に関する性能、建物の運営管理、建物利用者への健康促進プログラム等についてハード・ソフト両面の取り組みを評価する仕組み



オフィス棟外観イメージパース



「CASBEE-スマートウェルネスオフィス」  
認証ロゴ

- ※1 これまでの最高スコアと同スコア 92.0点を獲得  
6月29日時点において、CASBEE ウェルネスオフィス評価認証物件一覧  
([https://www.ibec.or.jp/CASBEE/WO\\_certification/CASBEE\\_wo\\_certified\\_buld\\_list.htm](https://www.ibec.or.jp/CASBEE/WO_certification/CASBEE_wo_certified_buld_list.htm)) に掲載されている物件によります。
- ※2 建築物の環境性能で評価する仕組み

## 1. 主な取り組み事項

本物件については、日本郵政不動産とライオンが共働し、以下の取り組みなどを推進しております。

### ① オフィスで働くすべての人が快適に過ごせる環境と知的生産性の向上

- ・ オフィスはABW (Activity Based Working) の考え方に基づいて設計しており、個々人の業務内容や好みに応じてフロアを移動しながら自由に場所を選択して働くことができます。コミュニケーションとコラボレーションを促進しながら、従業員の知的生産性の向上に寄与することで、ニュー・ノーマルにおける新しい働き方に対応したオフィスを実現します。
- ・ ワークスペースは、集中・2人作業・コラボレーション・プロジェクトワーク・リラックスなど多彩なワークバリエーションを設けるとともに、フロア間をつなぐ内階段の設置により、フロア間のコミュニケーションを促進します。
- ・ 従業員のためのラウンジエリアはもとより、偶発的なコラボレーションの産出に特化したフロアの設置、オンライン/オフラインのハイブリッドなコラボレーションに対応できる会議スペースなど、ここで働く人の生産性向上を目指します。

### ② 従業員の健康を促進する機能・プログラム

- ・ リフレッシュエリアをワークスペースから離れた位置に置き、そこでは窓に面した明るく広い空間の中で歯みがきを行えるライオンらしい「昼歯みがきの実行」とともに、リフレッシュできる仕掛けを計画しています。
- ・ オフィス内には、各デスクから視線に入りやすい場所に多く植栽を配置することで、自然とのつながりを感じリラックス効果も演出していきます。
- ・ 身体を動かすことのできるエリアや、仕事に集中した後にリラックスができるエリア、健康的で身体にやさしい食事をとることのできるカフェテリアを設けることで、健康を促進・サポートします。

### ③ 憩いと交流、健康を育む緑豊かな環境の創出

- ・ 隣接建物に約3,000㎡の大規模屋上庭園を整備し、自然の香りを感じてリラックスしたり、青空の下でミーティングをしてみたり、従業員や居住者、保育園の子どもたちなどの憩いの場となるよう、緑豊かな空間を整備します。
- ・ 敷地内の歩行者空間（蔵前の小径）は、四季の移ろいを感じられるような植栽を計画し、鮮やかな新緑や色づく紅葉など1年を通して様々な表情を楽しむことができるよう整備する予定です。
- ・ 本物件の（1階を除く）各階に緑を感じることができるテラスを設置し、気軽に外の空気を吸ってリフレッシュできるスペースを整備する予定です。

## 2. オフィスの計画概要

- ・ 執務する机を現在の6割以下とし、フリーアドレスを採用します。その日の仕事内容によって執務場所を自ら選択し、ベストパフォーマンスを発揮できる働きやすいスペースを確保します。
- ・ フリーアドレスの採用により、気軽なコミュニケーションを生み出すとともに、社外の方々とのコラボレーションによるイノベーション創出をサポートするスペースを設計、提供します。
- ・ 音や採光、空調、リフレッシュできるエリアなど執務環境に配慮し、働く人が健康で気持ち高まる快適なオフィスを提供します。

設計：株式会社イトーキ、株式会社インターオフィス、株式会社ブルック、  
日本郵政株式会社一級建築士事務所  
プロジェクトマネジメント：明豊ファシリティワークス株式会社



図1：多彩なワークバリエーションを配置したワークスペース（イメージパース）



図2：従業員のためのラウンジエリア（イメージパース）

< 関連情報 >

日本郵政不動産株式会社リリースは、以下の URL をご参照ください。

URL <https://www.jp-re.japanpost.jp/news/pdf/20210630kuramae.pdf>

以 上

お問い合わせ窓口

< 報道関係の方 > コーポレートコミュニケーションセンター 03-3621-6661